

市長としゃべらん

吉野川市広報サポーター

阿部 和剛 氏 × 原井 敬 市長

トーク企画



阿部 和剛 氏

吉野川市広報
サポーター

原井 敬 市長

コロナの自粛期間中に子どもがレゴで遊んでいたのを見ていたのがこのレゴカメラです。

市長 これはデジカメにレゴをつけとんかなと思ったら、昔のフィルムのカメラですか。

阿部 昔の写真館にあるような大判カメラの仕組みです。

市長 インパクトがありますね。

阿部 阿部さんのSNSには外国人の方がよくコメントを入れたりしていますが。

阿部 レゴと大判カメラは海外の方によく検索されるんです。大判カメラは海外ではラージフォーマットと言つて日本ではもうほとんど使われていませんが、海外ではフィルムカメラ自体が見直されて今ものすごく流行っているんですよ。

今、このレゴカメラで吉野川市の風景を撮っているんですけど、どうやつたら吉野川市の風景をもっと世界に発信できるかを考えたときにフォロワー数は多いに越したことはないと思っています。インスタもフェイスブックもSNS全般的に「いいね」の数の向こう側は人なんですね。人がいるからフォロワーが増えている。向こうにいるのが入っているのを意識してするようにはしていますね。

市長 なるほど。そういうえば前に阿部さんからこのレゴカメラで撮った写真をいただいたんですけど、僕、この写真を気に入りまして市長の新しい名刺に使わせていただきました(6ページ下段写真参照)。

阿部 めちゃくちゃいいじゃないですか(笑)。名前まで入れてくれたんですね。

市長 はい。名刺を配ることがあるとのPRになればと。

阿部 それは光栄です(笑)。是非吉野川市の美しさを広めていただきたいなと思います。

市長 やっぱり市長という立場になりましたら広報とか発信の部分が大事だなあと改めて感じています。

阿部 役目ですよね。

市長 今回、阿部さんは吉野川市の広報サポーターに就任していました



一 度、吉野川市は本市の魅力を地域の内外に広く発信し、市の知名度の向上や地域振興を図るための活動を行う「吉野川市広報サポーター」制度を創設しました。1月18日(月)、その広報サポーター第1号として川島町在住のアマチュア写真家 阿部和剛さんに委嘱状の交付が行われ、委嘱式の後、阿部さんに郷土「吉野川市」に対する想いを語っていただきました。

市長 広報よしのがわで3カ月一度定期的に掲載しています「市長としゃべらん」ですが、今回は阿部和剛さんに本市第1号の広報サポーターに就任いただいたということで、スポットを当ててお話しを伺いたいと思います。

阿部 ありがとうございます。

市長 阿部さんは川島町で料理屋を営む料理人である一方、写真家として個展や写真集も出されています。また、その活動の中でSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などを通じて吉野川市の魅力を広く発信していただいているますが、きっかけはどのようなものだったんだでしょうか。

阿部 小さいときから歴史とか郷土について調べるのは好きだったんですけど、大阪で料理の修業をしていましたが、大阪で料理の修業をするときに同僚や友人に「阿部くん、徳島ってどんなところ?」って聞かれて、当時都会志向だった僕は「徳島何もないよ」とつづって答えたんですよ。

市長 当時の阿部さんはそんな感じだったんですね。今のイメージと違いますよ。

市長 阿部さんといえばSNSによる発信に力を入れられていますよね。

阿部 「美しい吉野川市」というインスタグラム(以下・インスタ)とブエイスニックをメインにユーチューブでの動画配信も行っています。それから、ここにあるレゴカメラを使ってインスタの別アカウントを昨年9月に開設したんですが、今5カ月目でフォロワー数が70000を超えました。

市長 レゴ大好きなんですね。

阿部 そうですね。こちらの写真みたいに昔の写真と今の写真の撮り比べをやりたいんですよ(6ページ上段写真参照)。

市長 持ってきていただいたこの写真は昔の渡し船…。

阿部 これは渡し船じゃなくて貨物船です。これと、これ、同じ川島の吉野川なんですよ。そんなのもやつていろいろかなと思っています。そのためには、いろんな家を回って昔の写真を集めなければいけません。今はコロナ禍ということもあり、なかなか難しいですが、何かの機会に集めることができたらと思っています。

それから、インスタのアカウントをみんなに投稿してもらう形のアカウントに変更したんですよ。いろんな人が写真を撮ったものにハッシュタグ吉野川市なんかついて入れても上げる参加型の盛り上げ方。そこで吉野川市のおいしい飲食店なんかも紹介したりして、これまでやつてきた「美しい吉野川市」に「おいしい吉野川市」っていうのを絡めていこうかなと思っています。

徳島って
どんなところ?

いますね。
阿部 その後、修行を終えて徳島に帰つて来て思つたのが、徳島むちやくちや風景綺麗など。都会ではビルばかりで星も見えないようなどろにいたのに、徳島のこの美しい風景のこと何で答えられるかたんだろうって悔しかつたんです。それで、これではいかんなど。僕と同じように徳島の魅力を答えられない若者がこれからどんどん出てくるだろうなと。それで、写真を撮つてみんなに伝えていこうと思いついたのがきっかけです。

「美しい吉野川市」を
世界へ

